



ひとが輝く、ふれあいのまち 鳥栖北

まちづくり通信

第129号

令和6年 6月1日発行
鳥栖北地区まちづくり推進協議会
事務局



TEL 85-3631
FAX 55-4806

スポーツ協会

5/16 スポ協理事会を開催しました

5月16日（木）に鳥栖北地区スポーツ協会理事会を開催し、今年度の各種大会やスポーツ大会などについて話し合われました。

今年は佐賀県で10月5日～15日に「国民スポーツ大会」が10月26日～28日に「全国障害者スポーツ大会」が開催されます。

スポーツへの関心が高まっていくなか、今年度もスポーツ教室や様々な行事を予定しております。皆さま奮ってご参加ください!!



(理事会の様子)

お知らせ スポーツ教室、モルック・カローリング大会を開催

★スポーツ教室（モルック・カローリング体験）

日時：6月24日（月）～28日（金）19時～21時まで

場所：鳥栖北小学校 体育館

対象：北地区にお住まいの方（事前申し込みはいりません）

持ってくるもの：室内用シューズ、汗拭きタオル、飲み物

★モルック大会

日時：6月29日（土）8時40分集合 場所：鳥栖北小学校 体育館

準備物：室内用シューズ、汗拭きタオル、飲み物

町区対抗となりますので、ご家族、ご友人お誘いあわせの上、各町区にお申込み下さい。

★カローリング大会

日時：7月6日（土）8時40分集合 場所：鳥栖北小学校 体育館

※準備物：室内用シューズ、汗拭きタオル、飲み物

町区対抗となりますので、ご家族、ご友人お誘いあわせの上、各町区にお申込み下さい。

■モルックとは■

モルックという木の棒を投げ、スキットルという1～12の番号が書いてある

木製のピンを倒し、ぴったり50点を目指すスポーツです。



■カローリングとは■

カーリングからヒントを得て、氷上ではなく室内でカーリングができるように開発されたニュースポーツです。



交通対策協議会

交通安全指導員、山内さんが表彰されました

中央区の山内幸雄さんが、鳥栖市交通対策協議会の向門会長（市長）より表彰されました。山内さんは、全国交通安全指導員研修会にも積極的に参加されるなど交通安全指導員として献身的に尽力され、人格も見識も優れているということで推薦されました。いつも子ども達の安全を見守ってくださり、ありがとうございます。これからもよろしくお願いします。



5/9 総会を開催しました



4月・5月

交通安全教室が行われています



5月9日（木）に総会が開催され、令和6年度の事業計画や予算等が承認されました。

今年度も北地区の交通安全のための活動をよろしくお願いいたします。



(駒鳥幼稚園での様子)

今年度も北地区内の幼稚園、保育園、北小で交通安全教室が行われています。

5月14日（火）は駒鳥幼稚園で開催され、園児たちが手を挙げて道路を渡る練習をしました。

(総会の様子)

4月23日（火）に開催された総会では、令和5年度の事業報告及び決算並びに監査報告について、令和6年度の事業計画（案）及び予算（案）の検討・協議を行いました。

本年は、コロナ禍以来さらに普段の日常が取り戻され、各事業にも多くの方々にご参加していただけるよう、魅力ある同会にするため、住民の皆様の要望をくみ取りつつ、地域の福祉向上と共に笑顔あふれる地域に成りますよう努めてまいります。（地区社協）



（総会の様子）

4/29【宿町】宿の鉦浮立

しゆく かね ぶりゆう

『宿（しゆく）の鉦浮立（かねぶりゆう）』は毎年4月29日に奉納されている伝統芸能で鳥栖市の重要無形民俗文化財にも指定されています。五穀豊穰と無病息災を願う行事です。江戸時代から伝わり、戦後一時途絶えましたが、1990年に地域住民によって復活し現在まで受け継がれているということです。



4月29日は（月）は雨の影響でまちを練り歩く道囃子が中止となりましたが（例年はのぼりを先頭に道囃子、鉦打ち、太鼓打ちなどを行いながら宿場車路から宿船底神社まで約2キロを練り歩きます）船底神社境内や宿町公民館で太鼓の音に合わせ、重さ約13キロの鉦を打ち鳴らし勇壮な舞を奉納しました。雨の中、重たい鉦を何度も振り上げて舞う姿は、勇壮華麗で迫力ある舞でした。

郷土無形民俗芸能を次世代へと受け継がれていく様子がかがえ、舞が奉納されたあとは観覧されている方々から大きな拍手が上がっていました。



鳥栖中学校【希望の像修復】のための募金にご協力をお願いします！

募金箱設置期間：6月1日（土）～ 7月31日（水）

募金箱設置場所：鳥栖中学校・鳥栖まちづくり推進センター
鳥栖北地区まちづくり推進センター



現在の「希望の像」

鳥栖中学校正門にある“希望の像”を知っていますか？

“希望の像”は、昭和39年に開催された東京オリンピックの聖火リレーを同校の陸上部女子生徒がつとめたことを記念して作られた像です。当時の生徒会が発起して、生徒をモデルにした像の作成をし、銅板の文字等は先生方が担当するなど、生徒と先生たちが協力して作成された大切な作品です。

鳥栖中学校改築の際にも、『「生徒の将来の希望や願い」や「生徒と教職員の協力協働の師弟愛」の象徴として、絶対に残してほしい』という意見から、現在の場所に移設されました。その後も大切にその思いを引き継いできましたが、そんな“希望の像”が経年劣化により、修繕が必要となってきています。

みんなの思い出が詰まった“希望の像”修復へ向けて、皆さまのご協力をお願いいたします！